

埼玉つぼみの会通信

← 令和元年10月12日、毎日新聞宮城版



各行事が軒並み中止で残念な思いの中、とても嬉しいニュースが飛び込んできました！関係各位のご承諾を得て、特集号を発行します。1型糖尿病の子供達の希望ですね。松本京太郎選手の甲子園でのご活躍、そしてこれからの更なる飛躍を心から応援します！（田原）

白球譜

仙台育英・2年
松本京太郎外野手
8-8の同点で迎えた延長十一回表二死一塁。一打勝ち越しの好機に打席に立ち、中越えの二塁打を放った。「出塁することを考えて打ったら長打になった」と振り返るひと振り。決勝点をもち、二塁ベース上でガッツポーズを繰り返していた田中祥都主将（2年）

頼れる9番「最高の準備を」

も「しっかり振ってくれた」と喜んだ。
2017年の夏の甲子園で、仙台育英が大阪桐蔭大と対戦した。秋の大会以降で公式戦の先発出場は初。しかし、この日は9番打者ながら6打数5安打と、計23安打を放った仙台育英打線の中心として活躍した。「僕の中では、9番は一番バッター（と同じ）。常に良い選手を置いている」という須江航監督の采配が功を奏した。見据えた。【滝沢一誠】



埼玉医科大学小児科 菊池透先生から1型糖尿病の子供達へ

松本京太郎君は長瀬町出身で、9歳の時に1型糖尿病を発症しました。長瀬中学校に在学中もトルシニアリーグで硬式野球を続け、仙台育英学園高校に進学し、野球を続けました。

そして、春の甲子園出場が決まりましたが、コロナで中止、しかし先日の高野連が発表した夏の甲子園の交流試合に参加できることになったと、お父様よりご連絡をいただきました。

松本京太郎君の活躍を、ぜひ埼玉の1型の子供達に伝えたいとお願いしたところ、ご快諾いただいた次第です。みんなで応援しましょう！

【特集】 輝く未来に向けて羽ばたけ！松本京太郎選手！

全国の強選手が集まる中、想像を絶する戦いを勝ち抜かなければベンチ入りできません。お父様から聞いた話ですが、月一回通院で抜けるだけで、自分の立ち位置が変わる。それだけ厳しい強豪校に単身一人で身を置くだけでも凄いこと、そこからベンチ入りですから、言葉にならないくらい素晴らしいことです。春のセンバツが夏の代替えで開催され本当によかった！京太郎君の活躍が今から楽しみです。（会計・能登）

松本京太郎

- 平成14年5月9日 長瀬町生まれ
- 小学2年 『長瀬ジャイアンツ』入団
- 小学3年 9歳で1型糖尿病発症
- 小学4年 5年生以下チーム背番号1 県大会出場
- 小学5年 県大会出場
- 小学6年 『24時間テレビ』出演 阪神、岩田投手と対面
- 中学1年 深谷彩北リトルシニア入団
- 中学2年 林和男杯国際野球大会 シニア秋季関東大会 北関東選抜で台湾遠征
- 中学3年 100m県大会出場 400mリレー秩父新記録

仙台育英学園に進学

- 高校2年 秋季宮城県東北大会優勝 明治神宮大会出場
- 高校3年 甲子園交流大会出場予定

京太郎は物心ついた時から野球に夢中で、小学2年生で入団して直ぐレギュラー獲得。これからというときに突然、1型糖尿病を発症しました。その時の言葉にならない辛さ、同じ境遇の方にしか分かりませんよね。

『死んじゃうと思ったから野球を続けられて良かった』と、当時の本人の談です。しかし、順風満帆なはずもなく、野球では高血糖で集中力欠如・低血糖との闘いと、対戦相手以外との戦いも同時にこなして来ました。

そんな中、縁あって岩田投手と24時間テレビで対面させて頂き野球に打ち込む決意を固めることに。幸運な事にチームメイトに恵まれ、中学では仲間の前で注射できるようになりました。

野球選手なので躰大きくしたかったのですが、やはり命の方が大事です。きっと皆さんも同じ思いだと思います。ほんの少しでも、皆さんが前向きになるきっかけになれば本当に嬉しいです。一緒に踏ん張って行きましょう！（京太郎の父）

